

広報

にきた

2026

第73号



目次

総代会	2	topics	12
役員体制	4	女性部より	16
職員紹介	5	インフォメーション	18
新採用職員紹介	8	お便りコーナー	20
LA紹介	9	パズル	21
子会社設立	10	我が家のアイドル・お料理	22

表紙の写真

「メロンの収穫」

長内敬昭さん光希さん親子

～越水地区～

第19回通常総代会

6月26日

健全な経営基盤で

地域農業を支える

6月26日、つがる市柏ふるさと交流センターで第19回通常総代会を開催しました。総代定数515名のうち489名（本人出席195名、議決権行使書面294名）の出席をいただきました。令和7年度剰余金処分案および事業報告、令和8年度事業計画など全5議案を審議し、全て原案どおり承認されました。



山中満春前組合長は、「令和7年度決算では、組合員の皆様のご理解とご協力により、当期剰余金1億6013万円を計上することができました」と感謝の意を表しました。米を取り巻く情勢は、生産コストの高止まりや需給バランスの変化により、今後の価格動向を注視すべき状況が続いています。農協では、資材価格の高騰や気候変動など先行きが不透明な環境に備え、各種積立



金への積み立てを進めつつも、使途の決まった枠にとどめない「次期繰越剰余金」として着実に積み残すこととし、急激な環境変化や組合員への支援に柔軟に対応できる「即戦力資金」として活用してまいります。

提出議案

○議案第1号

令和7年度剰余金処分案および事業報告の承認について

（報告事項1）令和7年度貸借対照表、損益計算書、注記表並びに会計監査人の監査報告および監事の監査報告について

○議案第2号

令和8年度事業計画の設定について

○議案第3号

令和8年度における理事および監事の報酬について

○議案第4号

定款の一部変更について

○議案第5号

役員の選任について

○附帯決議

ア、決議事項中行政庁の認可、承認を必要とするものについて総代会決議内容を変えない字句等の変更については、理事会に一任願いたい。

イ、事業計画について年度途中でその一部について軽微な変更を要するに至ったときは理事会においてその変更をなすことができることを承認願いたい。

（報告事項2）信用事業再編強化法第4条の規定に基づき農林中央金庫が定める基本方針について



組合員表彰

農協事業の発展にご尽力いただき、組合運営や地域農業の振興に多大なご貢献をいただいた皆様を表彰いたしました。これまでのご功績に深く敬意と感謝を申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



※総代会資料「協同のあゆみ」50ページに間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

正 誤 表

業務報告書p50(4) 引当金等の明細

【正】

種類	当期首残高	当期増加額	当期減少額 目的使用	当期末残高
退職給付引当金	638,892	128,077	175,761	591,208
合 計	784,539	219,632	210,111	722,296

【誤】

種類	当期首残高	当期増加額	当期減少額 目的使用	当期末残高
退職給付引当金	638,892	591,208	638,892	591,208
合 計	784,539	682,763	673,242	722,296

農地を守る
新たな担い手

株式会社にしきた

本格始動

地域農業の未来を支える新たな一歩

当JAでは、稲作農業を中心に地域農業を守り、持続可能な供給産地としての役割を果たすため、令和8年1月30日に農業経営を担う子会社「株式会社にしきた」を設立しました。

近年、農家組合員の高齢化や後継者不足により、生産基盤の弱体化や農地集積が急速に進んでいます。また、集落営農組織や農業法人においても、労働力不足や機械・設備への投資負担など、多くの課題を抱えており、担い手だけでは農地を維持することが難しい地域も増えています。こうした状況を受け、当JAでは「地域農業を守る」ことを理念に株式会社にしきたを設立し、令和8年4月から本格的に事業を開始しました。

令和8年産米の生産に向けて農地を募集した結果、耕作および作業受託を含め、21名の組合員の皆様から約42haの農地をお預かりしました。4月1日から水稻耕作を開始し、耕起や代かきなどの作業を田植え時期に合わせて着実に進め、5月14日から田植えを実施。株式会社にしきたの役員をはじめ、JA職員やインドネシアからの特定技能生も参加し、一丸となって作業に取り組みました。

今後も令和9年産に向けて、農地の借り入れを進めるため、農地の貸し出しをご検討されている組合員の皆様に個別相談を実施いたします。ご希望の方は、お近くの支店・事業所窓口までお気軽にご相談ください。



株式会社にしきたでは、更なる経営基盤の強化を目指し、水田面積を毎年15haずつ拡大する5カ年計画を策定しています。地域の大切な農地を次世代へ引き継ぎ、持続可能な農業の実現に向けて取り組んでまいります。今後とも、組合員の皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。



農地（田）の貸し出しをご検討されている 組合員の皆様へ

農地を貸すメリット

【安心・安定の経営体制】

親会社がJAであるため、契約手続きや管理、賃借料の支払いなど、安心してお任せいただけます。

【農地の資産価値維持】

継続的に耕作されることで農地としての価値が保たれ、将来的な売却時にも有利になります。

【正組合員資格の継続】

組合員の皆様には、生涯にわたり農業に関わっていただきたいとの思いから、小規模農地（10a）での作目への取り組みを推奨しております。これにより、正組合員資格を継続することが可能となります。

農地貸し出しの条件

- 1. 対象農地** 水田（※水稲の耕作が可能な状態であること）
※前作が大豆等で長年転作していた圃場については、賃料・借入れ可否・期間等について個別に協議させていただきます。
- 2. 賃貸契約期間** ご希望を伺いながら個別に調整いたします（基本5年間）。
- 3. 賃料** 各地域の農業委員会および農地中間管理機構の基準を参考といたします。
- 4. その他** 立地条件や面積など、稲作に関わる諸条件についても併せて協議させていただきます。

ご相談窓口

最寄りの支店・事業所にて
ご相談を受け付けております。
担当者：支店長および事業所長

りんご園の貸し出しをご検討の 組合員の皆様へ

令和9年からは、りんごの生産についても検討を進めております。栽培計画面積は50a～100aを予定しております。りんご園の貸し出しをご検討されている組合員の皆様は、最寄りの支店または事業所までご相談くださいますようお願いいたします。



3月～6月にかけての出来事を紹介します

topics

3月～



地域農業の担い手として インドネシア特定技能生が活躍

3月上旬、インドネシアからの特定技能生を受け入れました。少子高齢化の進行により農業分野では深刻な人手不足が続く中、安定的な労働力の確保を目的として受け入れを決定しました。

特定技能生は、技能試験に合格した一定の技術水準を持つ人材であり、勤勉さや協調性の高さ、日本文化への理解や関心も評価されています。



🌱 苗のハウス入れ



🌱 ブロッコリーの氷詰め



🌱 加工用トマトの播種

来日後は、野菜や水稻の苗の運搬、加工用トマトの播種などの基礎作業から始め、ブロッコリーの氷詰め作業や株式会社にしかたの田植え作業にも従事するなど、現場で着実に経験を積んでいます。作業への意欲も高く、職員とのコミュニケーションを図りながら業務を習得し、農繁期を支える貴重な戦力として活躍しています。

J A では、外国人材の力を活かしながら生産性向上を図るとともに、地域農業の持続的な発展につなげていきたいと考えています。

4/1



新体制で 令和8年度スタート



🌱 辞令交付式で誓いの言葉を発表する新採用職員（真ん中）

4月1日、本店で令和8年度辞令交付式を行いました。今年度の人事異動対象者は57名で、新たに10名の新採用職員を迎えました。

式では、組合長から一人ひとりに辞令が手渡され、「組合員や職場内でのあいさつの励行、密なコミュニケーション、そして迅速な『報告・連絡・相談』を徹底してください。組織が変化の波を乗り越えるには、職員一人ひとりの創造力と組織の結束力が不可欠です」と訓示しました。

4/21



アスパラガス 県内シェアの半数占める



🌱 アスパラの出荷規格を確認する部会員

4月21日、つがる白神やさい・果実部会のアスパラ・そさい班は、白神野菜センターでアスパラガス出荷説明会を開催し、関係者約70名が参加しました。

太さや茎、穂先などの選果基準を共有し、本年度の総出荷数量90t、総販売額1億80万円の目標を掲げました。

班長の長谷川誠さんは「新規就農者や農家へ転身する若い人が増えている。そうした人たちが生活できる産地を目指し、鰯ヶ沢町のアスパラガスの知名度をさらに高めたい」と意気込んでいます。

4/23



乾田直播の播種実演 地域に適した技術確立へ



トラクターで播種する葛西さんの作業を見学する生産者ら

つがる市水稻直播栽培研究会は4月23日、森田地区で乾田直播の播種実演会を開催しました。研究会メンバーの葛西英治さんの圃場で、V溝播種機による作業を実演。同市に適した水稻直播栽培マニュアルの作成に向けた実証栽培を行っています。

当日は、鳥害忌避剤や病虫害防除剤でコーティングした種もみを播種し、窒素全量緩効性の元肥一発肥料を施用しました。同研究会は、管内J Aや西北農林水産事務所、全農などが生産者向けの勉強会や栽培指導を実施し、直播栽培の普及を支援していきます。

5/8



出向く営農で 指導力強化



各支店事業所の営農指導員が集結

5月8日、つがる市のハーモニー未来館で令和8年度営農指導員会議を開き、営農指導体制と指導方針などを確認しました。

会議では、組合員意向調査で要望の多かった園地巡回や指導力向上に対応するため、4支店の地区担当専任指導員を中心とした「出向く営農」の強化を共有しました。

また、気象変動や自然災害の頻発など農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、経営規模に応じた技術提案や経営指導ができる人材育成と、営農指導機能の強化に取り組むことを確認しました。

5/1
5/21

15年連続目標達成 共済事業推進大会で決意新たに



賞状を受け取るL Aとスマイルサポーター



農業保障優績表彰の賞状と副賞を受け取る常勤役員

5月1日、五所川原市のサンルート五所川原で共済事業推進大会を行いました。全共連青森県本部や役員ら56名が出席し、組合員・利用者に万全な保障を提供するため、決意を新たにしました。

大会では、令和7年度に優秀な実績を収めたライフアドバイザー（L A）5名とスマイルサポーター（窓口）1名を表彰。受賞者は、共済連青森県本部の葛西本部長から賞状を受け取りました。また、当J Aは推進総合目標15年連続で達成。さらに農業保障優績表彰の部では3年連続全国表彰を受賞しました。5月21日に本店で行われた全国表彰授与式では、常勤役員が賞状と副賞を受け取りました。

5月～6月



各地で田植え進む

豊作への願い込めて



5月中旬頃から管内各地で田植えが始まり、青空の下、生産者が今秋の豊作を願いながら作業に汗を流しました。

株式会社にしきたは、4月1日より水稻耕作を開始。農地賃貸借契約を結んだ組合員21名分、計42haの苗を準備し、同社役員やJA職員、インドネシアの特定技能生が協力しながら、朝から夕方まで田植え作業に取り組みました。

5月22日には、つがる市長やJA関係者が管内生産者の圃場を訪れ、生育状況を確認しました。

また、管内の小学校では、総合学習の一環として田植え体験を実施し、食と農への理解を深めました。今後は脱穀体験、稲刈り作業などを予定している学校もあり、JAも協力しながら学びの場を支え、地域農業への関心を育んでいきます。



子会社の播種作業の様子



5/20子会社の田植え



5/22つがる市長による田植え督励（山内唯叶さん、古坂朝和さんの田植え）



5/25鶴田小5年生83名による「はれわたり」の田植え



6/2深浦小5年生16名が「バケツ稲」に挑戦



6/11舞戸小5年生28名による「はれわたり」の田植え

5/25

スタント実演で学ぶ
交通事故の危険性

自転車と自動車の衝突で、人が宙に舞う様子

管内の中泊町立中里中学校は5月25日、JA共済の自転車交通安全教室に参加しました。この日は、有限会社シャドウ・スタントプロダクションのスタントマンが、自転車と自動車による事故を想定した実演を披露。実際に発生した事故を基に、自転車に乗った人が車にはねられる様子や、自動車の死角による危険性などを再現しました。衝突の衝撃で大きく変形した自転車も展示されました。

4月から自転車の交通反則通告制度「青切符」が適用されたこともあり、生徒たちの関心は高く、真剣な表情で実演に見入っていました。

6/1～

健康体感館オープン
組合員が多数参加

支店の駐車場にオープンしました



つがる統括支店駐車場に「健康体感館」がやってきました。組合員の皆さまを対象に、オープン前の特別体験イベントも開催しました。

会場では、最新の磁気医療機器を使用した無料体験を実施。20～30分程度座るだけで、血行改善や自律神経のバランスを整える効果が期待できるとされ、組合員や地域の皆さまの健康維持・増進を目的としています。

体験者からは、「背中がぼかぼかした」「すっきり眠れるようになった」などの感想が聞かれ、健康への関心の高さがうかがえました。

6/2



鮮度保持徹底 ブロッコリー県外へ出荷



選果基準を確認

6月2日、稲垣野菜センターでブロッコリー出荷説明会を開催しました。生産者や出荷市場2社を招き、品質や大小基準などの出荷規格を確認しました。

今年の収穫は例年より約5日早く、出荷はハウス栽培が5月26日から、露地栽培が5月29日から始まりました。同センターには1日約500ケース(1ケース5kg)が持ち込まれ、選果員が規格ごとの選別や箱詰め作業に励みました。

選果後は発泡スチロール箱に氷を詰めるなど鮮度保持を徹底し、高品質な状態で県外市場へ出荷しました。出荷は7月上旬頃まで続きました。

6/18、
6/19

農機展示会で 融資相談会を実施



農業機械がずらりと展示



会場に融資相談
コーナーを設置

6月18日、ヤンマー合同大展示会が鶴田町のスーパーストア駐車場にて行われました。翌19日には、ISEKI Japanの合同展示会が五所川原市のオルテンシアで開かれ、両会場においてJAの金融職員が農機具購入に関する融資相談コーナーを設置しました。会場は多くの来場者で賑わい、来場者は最新農業機械の性能や導入効果を熱心に確認するとともに、資金計画について相談していました。

6月中旬



良質のにんにくを収穫 例年より早く



にんにくの収穫作業

6月中旬から、管内でにんにくの収穫が始まりました。収穫ピークは6月14日～19日で、6月下旬まで続きました。りん片分化が早く進み、収穫時期は例年より5日～7日程早くなりました。

管内では品種「白玉王」を栽培。真っ白な外観と肉厚な実、強い甘みが特徴のにんにくです。

6月15日は、つがる市の小寺優さんの圃場で収穫作業に汗を流していました。収穫機で掘り取った後、専用の鎌で根や茎を切り落とし、コンテナに詰めて乾燥機へ搬入。3週間程乾燥させ、つがる市の屏風山野菜振興会が管理する氷温倉庫へ入庫しました。出荷は10月から開始予定です。

6/25



ミニトマト出荷 規格確認で品質揃える



カラーチャートを見ながら品質を確認する生産者

6月25日、稲垣野菜センターでミニトマト出荷説明会を開き、JAごしょつがる、JAつがるにしきたの生産者約20名が参加しました。

説明会では、JAへ持ち込む際は、カラーチャート「4」を目安に着色した状態で入庫するよう呼びかけました。

市場関係者は「色がきれいで、販売するのが待ち遠しい。市場に届いた時に赤くなりすぎないように着色基準を守り、品質の揃ったミニトマトの出荷をお願いしたい」と話しました。本年産は6月18日から関東市場へのお荷が始まり、最盛期は7月下旬頃を見込んでいます。

JAつがるにしきた女性部

春の活動報告

青森県JA女性組織協議会

青森県JA女性大会・夏期講習会

▶農協会館



JA相馬村女性部が組織活動体験発表をしました。発表会終了後には、夏期研修会を実施。今年度から県内の保育園などで取り組まれる「しゃかしゃかおむすび&みそ玉教室」事業に関連し、みそ玉を作り、昼食時に試食しながら活用方法を学びました。

また、6月の牛乳月間に合わせて、一般社団法人Jミルク西沢彩乃さんを講師に招き、「乳和食」をテーマとした講演を開催。県内で販売されている4種類の牛乳の飲み比べも行いました。



つがる支部(川除班)

日帰り研修 ▶いわき荘



今年度第1回目は日帰り研修会を計画し、弘前市のいわき荘を訪れました。研修では、家の光2023年8月号に掲載された「千代紙で作る箸置き」づくりに挑戦。部員同士で作り方を確認し合いながら、一つひとつ丁寧に折り進め、個性あふれる箸置きを完成させました。



つがる支部

花植え ▶つがる統括支店



つがる支部の役員は、来店者や地域住民に気持ちよく利用してもらおうと、支店周辺の環境美化活動に取り組みました。花壇の除草や土の整備を行った後、色とりどりの花3種類を丁寧に植栽。鮮やかな花々が並び、花壇は明るく華やかな雰囲気に生まれ変わりました。



鶴翔支部

花植え
▶ 鶴翔統括支店



5/26
13名参加

鶴翔統括支店入口の花壇や花壇下、スロープ脇のプランターにベゴニアを植栽しました。支店周辺を華やかに彩り、来店者や地域住民を温かく迎えています。今後も管理を続けながら、明るく親しみやすい環境づくりに取り組みます。



深浦支部

日帰り研修会
▶ アップルランド南田温泉



6/23
32名参加

7時26分深浦駅発のJR普通列車に乗って、弘前のアップルランド南田温泉まで日帰り研修会に行ってきました。美肌の湯につかり、おいしいお食事に舌鼓をうち、帰りはリゾートしらかみに乗って、りんご畑の中、田園、日本海の夕日などの美しい景色を堪能しながら帰路につきました。



JAつがるにしきた女性部では
一緒に活動する仲間を募集しています！
お近くの下記事務局までお気軽にお問い合わせください♪



支部名	電話番号	事務局
つがる支部	0173-46-2215	成田美代子
富苑支部	0173-56-3171	京 亜哉
つがる白神支部	0173-72-2783	石田美菜子
深浦支部	0173-84-1001	島元 孝久
津軽北部支部	0173-26-0272	泉谷 忍
鶴翔支部	0173-22-2428	阿部 海斗
本部（柏）	0173-23-5084	今 暁子

Tsugarunishikita Information

営 農 部

農薬は正しく安全に使いましょう

農薬散布するときは**農薬ラベルを確認**、**農薬飛散に注意し**、**栽培日誌への記入**をしましょう！

農薬を散布する回数が増える時期になってきました。

農薬を散布するときは、3つのことに留意して作業を行ってください。

1. 農薬を使う前に農薬ラベルを確認しましょう

農薬を使用する前に農薬ラベルを見て、希釈倍率や使用回数を確認しましょう。

特に使用回数は、決められた回数を超えないように十分に注意してください。

2. 周辺への飛散（ドリフト）しないよう努めましょう

周辺に異なる農産物や住宅街がある場合は、下記3つの点を留意し、周囲へ飛散しないように配慮しましょう。

●飛散しにくい粒剤を選択する。

●散布時の飛散防止のため、飛散低減ノズルや飛散防止カバーを使用する。

●ドローンを使用するとき操縦者は、予め機体・装置の機能について理解し、操縦する。

3. 農薬散布後、散布器具はしっかり洗浄しましょう

散布器具の洗浄、洗い残しはありませんか？

簡易洗浄だった場合、登録のない農薬散布の恐れや基準値超過の要因となりますので、散布後は、器具の中もしっかり水で洗い流しましょう。また、器具に前回使用した農薬が残っている可能性もありますので、散布前にも器具に水を通してから使用しましょう。

その他、使いきれずに残った農薬や除草剤を河川に捨ててしまうと下流の農産物が残留農薬基準値を超えてしまう可能性があります。残った農薬・除草剤は絶対に河川へ廃棄・流出させないようにしてください。

水田除草剤は、河川への流出を防ぐため、防除効果を高めるためにも散布後7日間は止め水をし、かけ流しや落水しないように気をつけましょう。

残留農薬の基準値を超えた農産物は回収・全量廃棄の対象になります

栽培日誌は出荷前の提出をお願いします



総 務 部

中途採用 正職員募集

募集人員	若干名	応募方法	持参または郵送
応募資格	高等学校卒業以上の学歴を有する方 普通自動車免許保有の方	選考方法	一次試験 書類選考・作文 二次試験 面接
受付期間	随時		
応募書類	直筆の履歴書（当JA用紙A3サイズ）※ホームページ・本支店・事業所に準備しています 卒業証明書 ※提出書類は返却しないものとします		
給与・待遇	基本給 161,500円～ 十歳年齢および職務経験に応じて加算措置があります 福利厚生：健康保険・厚生年金・雇用保険・労働保険・退職金制度 その他：賞与年2回・昇給年1回【R7実績】賞与4カ月分・決算手当1カ月分支給		
勤務内容	JA業務全般にわたる総合職（勤務場所：当JA本支店・事業所・各施設） ※即時就業希望の場合は翌年3月末まで臨時雇用として就業可能です		
採用時期	令和9年4月		



ホームページ

提出先・問い合わせ先：つがるにしきた農業協同組合 総務部 総務課 宛

〒038-3104 つがる市柏桑野木田幾世7番地4 TEL0173-25-2002

理 事 会 だ よ り

○3月定例理事会（令和8年3月30日）

- 第1号 第19回通常総代会の開催日時および開催場所について
- 第2号 役員賠償責任保険契約の締結について
- 第3号 保有個人データ等の開示等に関する手続規程の一部変更について
- 第4号 個人情報保護法等に基づく公表事項等の一部変更について
- 第5号 貸出関係手数料の設定について
- 第6号 内部統制システム基本方針の一部変更について
- 第7号 内部統制整備・運用実施計画の設定について
- 第8号 令和8年度コンプライアンス・プログラムおよび不祥事未然防止のための行動計画について
- 第9号 令和8年度個人情報保護計画の設定について
- 第10号 青森県による常例検査結果に対する改善状況報告について
- 第11号 株式会社にしきた定款の一部変更について
- 第12号 株式会社にしきた事業計画策定について
- 第13号 員外監事候補者の決定について
- 第14号 理事に対する利益相反取引について
- 追加議案
- 第15号 持続可能な収益性確保のための取組みについて

○4月定例理事会（令和8年4月28日）

- 第1号 令和8年度の余裕金運用について
- 第2号 令和8年度借入金の最高限度額について
- 第3号 1組合員に対する信用の供与等の最高限度額および組合員に対する貸付金の利率の最高限度について
- 第4号 組合員以外の者1人に対する信用の供与等の最高限度額および組合員以外の者に対する貸付金の利率の最高限度について
- 第5号 同一人に対する信用の供与等の最高限度額について
- 第6号 令和8年産主食用米及び水田活用米穀（加工用米・備蓄米・輸出用米）共同計算取扱要領の制定について
- 第7号 固定資産の取得について
- 第8号 資産査定の結果について
- 第9号 令和7年度決算書類の承認について
- 第10号 理事に対する利益相反取引について

○5月臨時理事会（令和8年5月20日）

- 第1号 余裕金運用計画額および運用方針の修正について
- 第2号 令和7年度決算の追加書類について
- 第3号 令和7年度剰余金処分案について
- 第4号 令和8年度事業計画の設定について
- 第5号 自己改革工程表について

○5月定例理事会（令和8年5月27日）

- 第1号 第19回通常総代会提出議案について

○6月定例理事会（令和8年6月9日）

- 第1号 総代会参考書類の承認について
- 第2号 議決権行使書面の取扱いについて
- 第3号 理事に対する利益相反取引について
- 第4号 理事に対する令和8年産米出荷契約金の支払承認について
- 第5号 子会社「株式会社にしきた」に対する貸付承認について
- 第6号 理事に対する購買未収金限度額変更に伴う承認について
- 第7号 固定資産の取得について

○6月臨時理事会（令和8年6月26日）

- 第1号 代表理事組合長の選任について
- 第2号 代表理事専務の選任について
- 第3号 代表理事常務の選任について
- 第4号 信用事業担当専任理事の選任について
- 第5号 組合長が事故又は欠員のときの理事会の招集順位の決定について
- 第6号 総務委員会、金融共済委員会、購買委員会、販売委員会委員の決定について
- 第7号 総代会で決議した理事報酬の配分について
- 第8号 行政庁に提出する業務報告書について

お便りコーナー



パズル・頭の体操へご応募頂いた方の紙面に關する感想・日頃感じていることを掲載しています。

あちこちの保険に加入してましたが、この手続きはネットでと言われてもやる気がしない歳になり、あちこちをやめてJAにすることにした昨年。知っている職員さんに聞きたいことを聞き、教えてもらいやすいのがうれしい。異動でいなくなったら困るな。
(鱈ヶ沢町 女性)

広報担当者の皆さん今後とも頑張って良い紙面をつくってね!!

(つがる市 男性)

インドネシアからの特定技能生のみなさんが日本の文化・農業を楽しく学んで帰ってほしい。
(中泊町 男性)

退職して家の仕事（農業・米・ねぎ・・・）を手伝うようになり、少し時間にゆとりができて広報を手にとっております。いろいろな情報が満載でびっくりしました。

くいしんぼの私の目にとまったのは、くるみゆべし。ぜひ作ってみたいと思います。

(つがる市 女性)

○定年退職

3/31付

工藤 盛伯 (本店 金融部 部長)
木村 一 (本店 営農部 部長)
川田 光浩 (本店 総務部付)
三浦 善良 (つがる統括支店 共済課 課長)
徳田 篤 (武田事業所 所長)

○依願退職

3/31付

神 徳臣 (つがる白神統括支店 営農経済課 課長) 佐々木 健 (富田事業所 専任調査役)

退職者のお知らせ

三浦真由美 (本店 園芸部 野菜課 専任調査役)
渋谷 昭彦 (稲垣給油所 給油所長)
中畑 治 (鶴翔統括支店 営農経済課 課長補佐)
長内 勝徳 (鶴翔統括支店 営農経済課 専任調査役)

東北農政局 青森県拠点より

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



連絡先：東北農政局青森県拠点 地方参事官室 電話：017-775-2151



(地独) 青森県産業技術センターより

開催日時：8月21日(金) 9:00~15:00

場 所：黒石市田中82-9

内 容：農業技術相談、研究成果パネル展、ご飯食べ比べ、衛星ナビのデモ、野菜や花の販売、農業クイズラリー、水田・畑の生き物・雑草展示、など
詳しい内容はホームページで随時更新します。

令和8年度 農林総合研究所参観デー

問合せ先：電話0172-52-4314



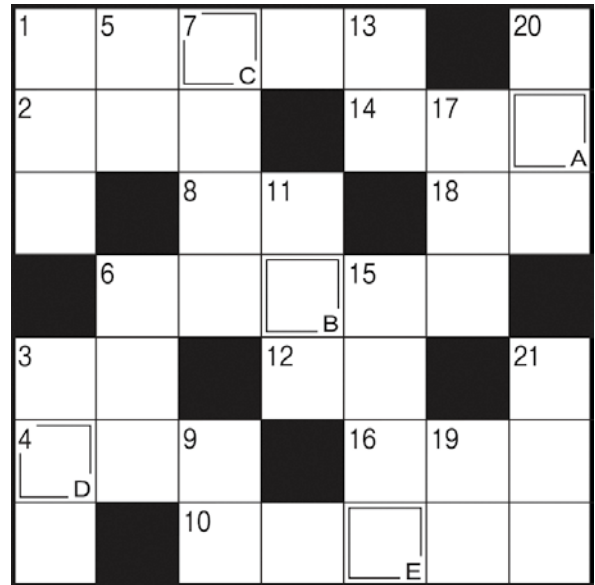
パズル・頭の体操



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

↓ タテのカギ

- ① 飛行機が飛び立つこと
- ③ 田んぼでゲロゲロ鳴きます
- ⑤ 土地の広さをあらわす単位のひとつ
- ⑥ シャワシャワと蝉——が降り注ぐ
- ⑦ パールともいいます
- ⑨ ヒヨコのための栄養が豊富な部分
- ⑪ 小銭入れに入れます
- ⑬ ブイもこの仲間
- ⑮ 北海道と青森を結ぶ——トンネル
- ⑰ 野球の出場メンバーのこと
- ⑲ 金づちで打ち込みます
- ⑳ 嘘から出た——
- ㉑ 盆——、阿波——



A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

前回の答え

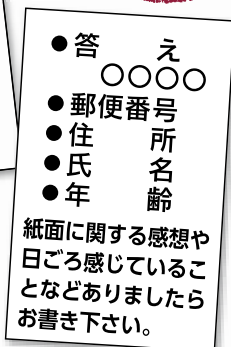
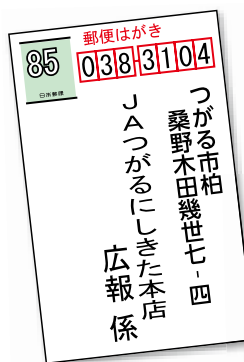
ハナフブキ

→ ヨコのカギ

- ① 令和8年は8月7日。暦の上ではもう秋です
- ② 髪に結わえるもの
- ③ タンスや机などのこと
- ④ ——ギターは電気信号で音を奏でます
- ⑥ 8月15日は——記念日。平和を祈念します
- ⑧ 初対面の人に——紹介をした
- ⑩ ハンバーグに入れるタマネギの切り方
- ⑫ 多くは殻を持つ生き物。実はウミウシもこの仲間
- ⑭ 炒った大豆をひいたもの
- ⑯ 分度器で測ります
- ⑱ 納豆が引くもの

正解者の中から抽選で5名様に
粗品をプレゼント！

賞品は令和8年9月中に発送を予定しています。
当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



送付方法

官製ハガキに、
①パズルの答え②郵便番号③住所④氏名
⑤年齢⑥紙面に関する感想や日頃感じていることなどをお書きのうえ、お送りください。
※いただいたご意見・ご感想は、広報誌にて掲載させていただく場合がございます。

宛先

〒038-3104
つがる市柏桑野木田幾世7-4
JAつがるにしきた本店 広報係

我が家のアイドル

富坂事業所管内

こじゅうろう
虎寿郎 くん (3歳)

◆好きな遊び◆

ブロック、ごっこ遊び

◆好きな食べ物◆

ラーメン、しじみ、アイス

◆両親からひとこと◆

毎日たくさんの笑顔と幸せを
ありがとう！

父：秋田 祐太さん 母：叶芽さん



【作り方】

- ① きゅうりは5mmくらいの輪切りにして塩もみをして、30分くらいおいて水分を出す。
- ② 材料が入る鍋に★の材料を入れて沸騰させる。
- ③ 塩もみしておいていたきゅうりの水分をしぼって②の鍋に入れ、再沸騰したら火を止めて、人肌まで冷ます。
- ④ 鍋の煮汁を残してきゅうりを一度取り出し、煮汁を再度沸騰させる。取り出したきゅうりを鍋に戻し、沸騰したら火を止めて冷めたら完成。

女性部のお料理コーナー つがる支部

きゅうりのQちゃん

【材料】

きゅうり・・・1kg (約10本～12本ぐらい)
塩もみ用の塩・・・大さじ1/2

- ★
- しょうが・・・30g (皮をむいて千切りにする)
 - 醤油・・・250cc
 - 砂糖・・・170g
 - お酢・・・50cc
 - みりん・・・50cc

夏の
常備菜に
ぜひ！



- 一晩冷ます時間があれば、作り方の③で一晩冷ましてから食べることができます。
- 完成したものは保存袋等に入れて冷凍することができます。自然解凍してお召しあがりください。

JAの概況

(令和8年6月末現在)

組合員数・・・・・・ 11,241名
(正組合員数)・・・・・・ 8,535名
(准組合員数)・・・・・・ 2,706名

出資金・・・・・・ 27.5億円
貯金・・・・・・ 695.7億円
貸出金・・・・・・ 107.6億円
長期共済保有高・・・・・・ 2294.8億円

発行・JAつがるにしきた 〒038-3104 青森県つがる市柏桑野木田幾世7番地4 TEL 0173-25-2002(代) FAX 0173-25-3519
発行日・令和8年7月17日 編集・JAつがるにしきた総務部
ホームページアドレス・<https://www.ja-tsugaru-nishikita.or.jp/> 印刷・有限会社 光陽印刷